

第680回福崎町教育委員会会議録

開催日時 令和7年10月24日（金） 15時30分～17時00分

開催場所 役場 3階 第一委員会室

出席委員 高橋 渉、桑谷祐顕、井奥智子、西村照明、鎌谷正子

事務局 学校教育課長 吉高美鈴、社会教育課長 木ノ本雅佳

1、開会

2、第679回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として西村委員・井奥委員を指名しました。

3、教育長報告

(1) 園・小・中学校の様子（9月～10月中旬）

【こども園】福崎幼稚園ではRS感染、コロナ等による欠席がありました。八千種幼稚園では高熱による欠席が17名ありました。田原幼稚園では、りんご病、コロナ（園児・職員）による欠席がありました。高岡幼稚園では家庭でのケガが多い園児が気になっています。姫学こども園では風邪やケガ、疲れ、コロナによる欠席がありました。サルビアこども園では風邪症状で多くの欠席がありました。

小学校への入学前の準備で保護者に対して、教具の購入については「入学説明会の時に業者が来られること」、制服の購入については「町内の各業者に買いに行くこと」を連絡しました。

【学童保育園】東部学童は90名前後の利用がありました。指導員に対して、令和7年度の指導に対する遵守事項を園長が再度指導しています。西部学童は50名前後の利用がありました。気温が下がり、外遊びができるようになり、児童の体調も良くなりました。個別指導と全体指導の区別が難しい指導員には、園長が気を配っています。

【小学校】福崎小学校では、遅刻、欠席が微増している児童がいるので留意しています。井ノ口の用水路で泳いでいた児童がいたので、強く指導しました。9/18に神戸医療未来大学の外国人学生9名と4・5・6年生が交流をしました。高岡小学校では、町消防団と合同避難訓練を行いました。田原小学校では、1学期は欠席が多かったが2学期になり出席が多くなった児童、教室へは入れないが「ほんわかルーム」へ登校できるようになった。児童を見守っています。学級閉鎖が6年3組と2年1組でありました。八千種小学校では3年生以外コロナに感染した児童がいました。

【中学校】福崎西中学校では、9/2に何者かが深夜に校舎へ侵入したため、警察の巡回強化と職員の施錠等対策を講じています。以降の侵入報告はありません。生徒が興奮して窓ガラスを割る事案がありました。2階から空調機器の配管を伝って降りようとしていた生徒がいたので指導しました。インフルエンザによる学級閉鎖がありました。「下校マナーが悪い」と地域の方からの情報があり、教員による登下校時交通立ち番などの指導を行っています。福崎東中学校では、2年生は欠席は少ないですが、毎日遅刻をする生徒が多く、苦慮しています。姫路特別支援学校へ通学している生徒2名と居住地交流を実施します。自転車通学生が一般住民の自転車に対して、加害者となる事故がありました。

(2) 協議事項

「放課後デイサービス」事業の保護者負担の補助をなくすことについて

福祉課小幡課長から資料に基づき説明を受けました。利用者負担の補助をなくすことは、①「誰ひとり取り残さない教育」に逆行する。②「必要として始めた事業」で今も多くの児童生徒が必要としている。③「住みよいまちづくり」の一つとして子どもを大切にしていると実感できる。これらの理由により「利用者負担の補助」を廃止することに、教育委員会としては反対することとしました。

なお、このことは、11/26（水）の行財政改革懇話会において、西村委員から教育委員会の総意として発言していただきます。

（桑谷委員）対象の児童生徒は、何年生から何年生ぐらいまでですか。

（小幡課長）放課後等デイサービスの対象者は、主に小学生と中学生です。

（桑谷委員）放課後等デイサービスが提供されているサービスを教えてください。

（小幡課長）児童療育の分野で、最近多いのは、発達障害で、落ち着きがない、又は、集団生活に馴染めない子どもたちに療育的なケアをしています。平日は学校に行き、放課後等に学校に迎えに行き、事業所で個々の子どもにあった発達支援を受けた後、保護者が迎えに来られたり、送迎してもらったりという流れとなっています。

（桑谷委員）小学生と中学生の利用時間の違いはあるのですか。

（小幡課長）時間区分は、①30分から1時間30分以下、②1時間30分から3時間以下、③3時間以上5時間以下があり、事業所の開所時間の中で、利用者が選ぶようになっています。

（桑谷委員）学童保育に行きにくい障害のある児童等に特化した施設と考えてよいですか。

（小幡課長）障害福祉の分野でありますので、身体障害、知的障害、発達障害を有する児童生徒が利用対象となります。

（桑谷委員）利用料は、福崎町全体で30万円から240万円とほぼ8倍になっていますが、福崎町の発達障害等の子どもたちの多くがこのサービスを受けていますか。

（小幡課長）流れとしましては、まずは保健センターが保護者と話をする中で、放課後等デイサービスの利用を紹介することが多いです。やはり今は利用者負担が必要ないので、それであればということが多いと思われまます。

（西村委員）年々利用者も増え、利用料も増加しているということは、当然、事業所も増えている。福崎町の子どもたちも利用し続けたいということで、あとは費用の問題ですね。「予算をカットすること」と「サービスを利用したいと欲している利用者」と、どちらを優先されるのでしょうか。必要だと言われるなら、当然、利用者が優先ですね。国の制度では、ご家庭の負担は月額上限4,600円という設定の中で、町が負担することに対して、そこには何も無いのですか。

（小幡課長）基本的には障害福祉サービスは、国・県・町が負担しますので、4,600円を引いた残りの利用料については、国が1/2、県と町が1/4ずつとなっています。すべての障害児・障害者に対するサービスに関する給付費が増え続けていて、町の負担額が年間4億円近くなっています。以前は、障害があることがわからず、見過ごされていた方が、早期に発見できることによって、適切なサービスに繋ぐことができているという一定のメリットはあると思います。

また、昔は「ケアステーションかんざき」しかなく、利用者総数の限りや距離的なデメリットがありましたが、今は町内にも事業所があり、比較的利用しやすくなったことあるかと思えます。

まずは、大前提にサービスの利用は、「措置」から「契約」ということで、高齢者の場合と同様で、行政が決めるのではなく、利用者が決めて契約するものです。「自己負担分が無料」となっている町は、兵庫県内で、神河・市川・福崎の3町だけで

す。それがよいことではあったのですが、逆に財政を圧迫しているということで、俎上にあがってきたわけです。

(桑谷委員) 利用者は右肩上がりになるのではなく、どこかで頭打ちになりませんか。
(小幡課長) 中学校を卒業すれば、多くは次のステップに進みますので、今後の少子化で利用者は、必ずしも増えるとは言えません。

(教育長) 財政を削減する必要がある中で、その対象が「教育・文化・福祉」、この3つに集中している。この3つはなくても生きていける。でも、そうあってはいけないと思っています。

最近よく言われている「誰ひとり取り残さない教育」。誰ひとり取り残さないところか、切り捨てている。だから、今の教育に逆行している。

また、西村委員が言われたように「町として必要な事業やから始めたはず」。では、「必要でなくなったのか」。そうじゃない、違うでしょ、という議論にもなる。それから「利用料を負担しているのは神崎郡3町だけ」とのことですが、その3町は「子どもを大切にしている特徴のある3町なので自慢したらいいのでは」という気持ちが私にはあって、この制度見直しには反対の意見です。

(鎌谷委員) 教育を受ける権利は誰にもあることで、弱者が切り捨てられていくということが、とても悲しいと思います。しんどい思いをしている子どもが余計しんどくなるような制度では駄目かなと思います。また、保護者の立場からしても、無料だから行かせているのではなく、子どもが放課後をどこで生活するのかは重要なことで、安心して預けられる放課後等デイサービスは、保護者も一番安心できる所なのだと思います。

私も保育所に勤めていましたので、「ケアステーションかんだきで、児童療育を受けられたらどうですか」と保護者にすすめても最初はなかなか受け入れてもらえない。「家で何とかするから」とか「自分の子どものことでそこまで考えてないし、そこまで思っていないのでいいです」と言われる方も多いですが、最終的には療育を受けてすごく成長をしている部分があるので、やはり児童療育として、放課後等デイサービスを利用できるということは、子どもにとっていい方法と思います。

(桑谷委員) 教育長が言われたように「誰ひとり取り残さない教育」が提言される中、福祉サービスとはいえ、精神は同じで、ひとりでは生活しにくい子どもがいて、既にそれだけの利用者がいるということをもまず一番に考えないといけないと思います。

(西村委員) 例えこの制度を止めたとしても、各ご家庭では、利用を継続されると思います。個人負担月4,600円なら支払いは可能とは言え、このご時世でご苦労されている中で、さらにこれが毎月となるとその家庭の負担は、顕著に表れてくる。

福崎町として長年やってこられた「住みよいまちづくり」のひとつとして、大切にされるべき部分なのかなと思いました。見切るには、忍びない内容と思います。

②社会教育施設の料金改定について

11月の教育委員会で協議することとしました。

(3) 確認・報告事項

①全国学力学習状況調査の結果報告について
学校教育課の報告事項に記載します。

(4) その他

①勤務時間外在校時間について

資料に基づき報告しました。町校長会で呼びかけ、教職員自身が月に45時間以内を意識するように指導しています。

(5) 主な 11 月の予定

11 月の主な予定について、資料に基づき報告しました。

次回の教育委員会は、11 月 27 日（木）午前 9 時 30 分から福崎町役場第 1 委員会室で開催します。

4、協議事項

- (1) 福崎町立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について資料に基づき協議し、教育委員会は承認しました。

(桑谷委員) P T Aとは違うのですか。

(吉高学校教育課長) P T Aとは別の組織で、P T A役員や校長先生も協議会の一員となっただけで予定。地域と連携して、学校を良くしていこうというのが設置の狙い。

- (2) 放課後デイサービス等の利用者負担金助成事業の見直しについて教育長報告の中で協議しました。

5、報告事項

〈学校教育課〉

- (1) 令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果について

資料に基づき、木村学校教育指導員から報告しました。

学力調査では、本年度の結果は中学校の国語と数学を除き、いずれの科目も全国を上回りました。児童・生徒質問紙では、「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思う」の項目が全国平均を上回っています。「困りごとや不安があるとき、教職員にいつでも相談できる」の項目は、小中学校ともに全国を下回っており、きめ細かく丁寧な教育相談体制の充実が求められる結果となりました。この結果は町広報 11 月号に掲載します。

- (2) 建設工事の進捗状況について

資料に基づき報告しました。進捗率は令和 7 年 10 月 15 日現在です。

田原小学校普通教室増設等改修工事は、改修は夏休み期間中に終了し、2 学期から使用を開始しています。進捗率は 100%です。中学校の体育館空調設備設置工事実施設計業務委託は、空調方式を電気式に決定し、実施設計を進めています。進捗率は 40%です。

- (3) その他

資料に基づき報告しました。

〈社会教育課〉

- (1) 日本民俗学会研究奨励賞について

資料に基づき報告しました。「柳田國男の生誕地、民俗学のふるさと福崎町」を発信するため、受賞者には、来年度に福崎町で記念講演をしていただく予定です。

- (2) 入札結果について

資料に基づき報告しました。エルデホールの非常用電源設備設置工事について、設置後 30 年以上経過しており、非常電源設備の機能向上を図るため更新するもので、指名競争入札を行い、福崎電業株式会社が税込 35,376,000 円で落札しました。工期

は令和8年3月31日までです。

(3) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。進捗率は令和7年10月15日現在です。

非常電源設備設置工事について、現地確認を行っているところで、進捗率は5%です。

(4) その他

①スポーツ公園複合遊具の寄贈について

資料に基づき報告しました。公益財団法人姫路十字会から複合遊具の設置の寄贈を頂き、新たな複合遊具を設置しました工事は10月10日に完了し、完成披露の後、利用を開始しました。

②柳田國男・松岡家記念館及び歴史民俗資料館への寄託について

資料に基づき報告しました。町内在住の方から柳田國男・松岡家記念館に24点の絵画を寄託頂き、歴史民俗資料館へは同じ方から118点の資料を寄託頂きました。今後はこれらの絵画や資料を有効に活用させていただきます。

③今後の予定について

資料に基づき報告しました。

6、閉会

以 上

署名委員 西 村 照 明

署名委員 井 奥 智 子